

# 専門実践教育訓練明示書

講座の名称	認定看護管理者教育課程サードレベル		
実施方法	① <b>通学</b> ( <b>昼間</b> ・ 夜間 ・ 土日 ) ② 通信 スクーリング (回数 回)		
指定講座番号(15桁)	4312002	—	2320011
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間	過去一年の講座実績	入講者数( — 人) 修了者数 ( — 人)
年月日	令和8年9月30日まで		
訓練期間	2ヶ月	総訓練時間	195時間
<b>1. 教育訓練目標</b>			
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 ( ) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 ( ) <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学院 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム ( 履修証明プログラム ) <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 ( ) <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ( ) 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等		
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	熊本県立大学		
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	①各教科目の所定の時間数の4/5以上出席していること。 ②各教科目の評価がA、B、C、Dの4段階の「C」以上であること。 (Dは不合格とする) 評価基準 A: (80点以上) B: (79～70点) C: (69～60点) D: (59点以下)		
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	<b>【職種】</b> 看護職 <b>【職務】</b> 管理職 <b>【活用状況】</b> 本課程は、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得することを目的としており、修了者は看護管理者として、自己の経験を理論化し、知的想像力を高めながら、変動する現場に自信をもって対応できる人材として活躍している。		
<b>2. 教育訓練の内容</b>			
教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名	
ヘルスケアシステム論Ⅲ	36	『看護管理学習テキスト 第3版』(第1巻～5巻、別巻)日本看護協会出版会 ほか、学習要項に記載	
組織管理論Ⅲ	30		
人材管理Ⅲ	15		
資源管理Ⅲ	33		
質管理Ⅲ	30		
統合演習Ⅲ	51		
<b>3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)</b>			
①受講するに当たって必要な実務経験等	看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。		
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	①日本国の看護師免許を有する者。 ②認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者。 または、看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。		
③その他			

[ 特記事項 ]